

肥料価格高騰対策事業申込誓約書

令和 年 月 日

住所	
氏名(自署)	

1 事業内容に関すること

私は、事業に関する以下の4つの事項を誓約いたします。

- ①この支援金は、令和4年度から5年度までの2年間に化学肥料の使用低減につながる2つ以上の取組(化学肥料低減計画書)を行うことを条件に支払われることを理解の上、申込みます。
- ②上記取組を誠実にいき、取組内容は作業日誌等で記録を必ず残します。
(取組確認調査の際に、取組内容の記録等を求めます。)
- ③上記調査等の結果、申請内容に虚偽や不正がある場合や、化学肥料低減の取組が不適正や不十分と判断された場合は、支援金を返還すること、または、支払われないことに異存ありません。
- ④取組実施者において事務手数料や振込手数料などが生じる場合、これを差し引いて支援金が支払われることに同意します。

2 申請書類に関すること

私は、申請に必要な以下の書類(①~③)が全て揃っていることを確認しました。

① 肥料価格高騰対策事業申込書

- ・袋に『保証票』の印刷があることや販売店への問い合わせ等により、肥料法に基づく肥料であることを確認しましたか。
- ・申込票に肥料の名称と購入金額を正確に記入できていますか。
- ・肥料は全て令和4年6月1日から令和5年5月31日までの購入であることを確認し、返品できないことを理解いただきましたか。
- ・申込書(農業者様式第2号)に記入した肥料の購入伝票等(写し可)は、全て添付していますか。(取組実施者が注文一覧表等を添付する場合を除く)

② 化学肥料低減計画書

- ・「前年度までの取組」欄で実施してきた内容のメニューに○が付いていますか。
- ・「令和4年度又は令和5年度の取組」に、◎もしくは○が合わせて2つ以上付いていますか。(既に2つの取組を行っており、新たな取組みを行わない場合は◎(取組強化)が必要です。)
- ・取組内容欄には、対象の作物名や面積、堆肥の投入量など、取組の概要が書かれていますか。
- ・当年の肥料として確実に購入し、自らの農業生産に使用する旨の署名はしていますか。

③ 振込口座届出書

- ・支援金の振込口座に関する情報の記入漏れはないですか

(農業者 様式第2号)

肥料価格高騰対策事業申込書

記入日	令和 年 月 日	氏名	
住所			

1 購入した肥料

(府協議会が認めた注文一覧表等を添付する場合は、合計額以外は記入省略可)

商品名	肥料法上の区分 (該当するものに○)	金額
	普通肥料・特殊肥料	円
	普通肥料・特殊肥料	円
	普通肥料・特殊肥料	円
	普通肥料・特殊肥料	円
	普通肥料・特殊肥料	円
	普通肥料・特殊肥料	円
	普通肥料・特殊肥料	円
	普通肥料・特殊肥料	円
	普通肥料・特殊肥料	円
合 計	(必ず記入してください)	円

- 商品名は正確に記入してください
- 肥料法上の区分については、商品の表示(肥料袋等)を確認いただくか、購入した肥料販売店へご確認ください(指定混合肥料は普通肥料を選択)。
- 金額は同じ肥料を複数個購入している場合は、合計額を記入。
- 全ての肥料が購入伝票等で確認できるようにしてください。
- 肥料を注文したが、納品がまだの場合(購入伝票等が未発行の場合)は、発注書など購入の事実がわかる書類を添付してください。

2 確認事項

本申込書の内容に相違ございません。 (確認してチェック)

申込は (どちらかに必ず○をしてください)

この JA・肥料販売店等 (1か所) のみです。 2か所以上です。

購入伝票等添付用紙（足りない場合はコピーして追加してください）

のり付けもしくはホチキス止め

のり付けもしくはホチキス止め

のり付けもしくはホチキス止め

のり付けもしくはホチキス止め

化学肥料低減計画書

作付概要

作物名	作付面積(a)
その他	
計	

氏名(法人・組織名)	
住所	
電話番号	

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
- 2 「令和4年度又は令和5年度を取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。
そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度を取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く)		
ソ 地域特任技術の利用(大阪エコ農産物の生産)		

令和4年度又は令和5年度に取り組む内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア～ソ)	取組内容(予定)
	時期: 取組面積: 対象作物: 内容(資材名など):
	時期: 取組面積: 対象作物: 内容(資材名など):
	時期: 取組面積: 対象作物: 内容(資材名など):

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

当年(令和4年6月～令和5年5月)の肥料として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署)

化学肥料低減実施報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
その他	
計	

氏名(法人・組織名)	
住所	
電話番号	

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
- 2 「今後の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。
そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	令和4年度又は 令和5年度の取組	今後の取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く)		
ソ 地域特任技術の利用(大阪エコ農産物の生産)		
総取組面積	a	a

令和4年度又は令和5年度に取り組んだ内容(実施期間、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア～ソ)	取組内容(実績)
	実施期間(実施日): 取組面積: 対象作物: 内容(資材名など):
	実施期間(実施日): 取組面積: 対象作物: 内容(資材名など):
	実施期間(実施日): 取組面積: 対象作物: 内容(資材名など):

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可

化学肥料低減実施中間報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
その他	
計	

氏名(法人・組織名)	
住所	
電話番号	

- 1 「令和4年度又は令和5年度の取組予定」には、化学肥料低減計画書に記入した取組(○、◎)を転記してください。
- 2 「(左のうち)既に実施した取組」には、今回の報告時点で既に実施した取組に○、◎を記入してください。
(これから取組予定の場合は空欄としてください。)

取組メニュー	令和4年度又は 5年度の取組予定	(左のうち) 既に実施した取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く)		
ソ 地域特任技術の利用(大阪エコ農産物の生産)		

既に取組を実施した内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア～ソ)	取組内容(実績)
	実施期間(実施日): 取組面積: 対象作物: 内容(資材名など):
	実施期間(実施日): 取組面積: 対象作物: 内容(資材名など):
	実施期間(実施日): 取組面積: 対象作物: 内容(資材名など):

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可